

Q 8

どのように指導目標と指導内容を設定するとよいですか？

A 8

実態把握から、課題を明確にして、指導目標を立てます。そして、6区分27項目から項目を**関連付けて**具体的な指導内容を設定します。

詳しくはこちら



○ 自立活動の指導目標や指導内容を設定するには

指導目標の設定に当たっては、実態把握に基づいて、長期的な目標（学年等）と、短期的な目標（学期や単元等）を設定します。その際、次の3点を考慮して**優先順位を決めて**いきます。

必要性

将来の生活に何が必要か

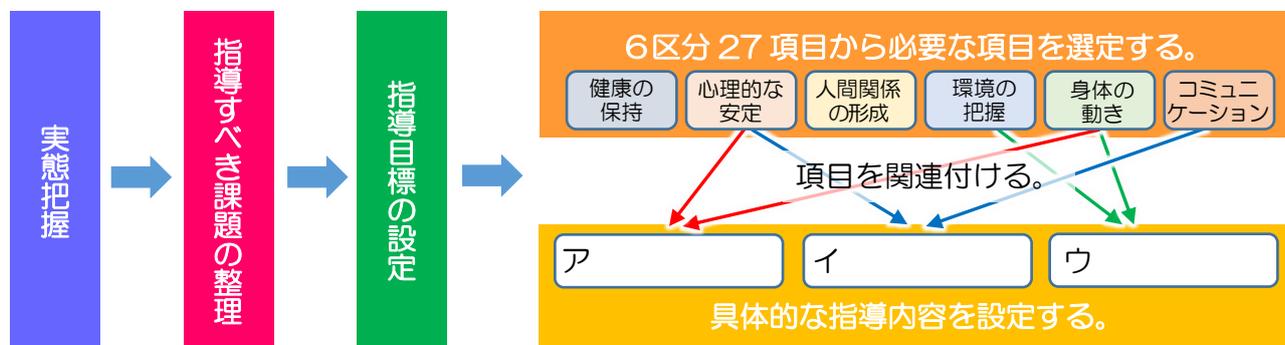
達成可能性

達成できる目標か

適時性

今、必要な指導か

「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編」では、下の図にあるように、実態把握から具体的な指導目標と指導内容を設定するまでの流れの例として「流れ図」が示されていますので、参照してください。



「流れ図」の具体例は、【II 実践編】において、障がい別に掲載しておりますので御覧ください。

○ 指導内容を設定する際の6つのポイント

「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編」において、自立活動の指導内容を設定する際の配慮事項として、次の6点が示されています。

- ① 児童生徒が、興味を持って**主体的に取り組み**、成就感を味わうとともに自己を肯定的に捉えること。



- ② 児童生徒が、障害による学習上又は生活上の困難を**改善・克服しようとする意欲を高める**こと。



- ③ 個々の児童生徒が、発達の遅れている側面を補うために、**発達の進んでいる面を更に伸ばす**こと。



- ④ 個々の児童生徒が、活動しやすいように**自ら環境を整える**ことや、必要に応じて周囲の人に支援を求めること。



- ⑤ 個々の児童生徒に対し、**自己選択・自己決定**する機会を設け、思考・判断・表現する力を高めること。



- ⑥ 個々の児童生徒が、**自立活動を学ぶ意味**について、将来の自立や社会参加との関係で理解し取り組むこと。



自立活動を学ぶことの意味について理解し、取り組めるような配慮の例

6 コミュニケーション (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。

発声や指差し、身振りやしぐさなどをコミュニケーション手段として適切に活用する。

様々な人と関わる際に、相手に意思や感情などを伝えるための基盤となる力であることに気付く。



こうやったら伝わるんだ！

伝え方を学ぶことが大事なんだ！



自立活動を学ぶことの意味に自ら気付き、目的意識を持って、主体的に学習に取り組めるようにしていくことは、児童生徒の自立活動に対する学習に取り組む力を高め、将来の自立と社会参加を実現する上で非常に重要です。